



検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
 この度、下記の項目につきまして、検査内容の変更及び検査の受託中止をさせていただくことになりましたのでご案内申し上げます。
 先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくご了承の程お願い申し上げます。
 謹白



検査内容の変更 (P. 3 ページ)

依頼コードNo.	検査項目名	総合検査案内2018 掲載ページ
03567	アミカシン	33,36及び手引き-4
03566	トブラマイシン	33,36及び手引き-4
03565	ゲンタマイシン	33,36及び手引き-4
07707	バンコマイシン	33,36
06748	ポリコナゾール	33
12976	アルベカシン	36
13006	テイコプラニン	36
04716	特異的IgE ヒノキ	65,67
11100	View アレルギー-39 (ヒノキ)	65,66
02790→11561	HPV-DNA型判定/PCR-rSSO	109
01938→13147	HPV-DNA型判定/PCR-Invader	214
02654→13153	高感度IL-6	222

変更日 2018年10月1日(月)受付分より

検査項目名の変更 (P. 14 ページ)

依頼コードNo.	検査項目名	総合検査案内2018 掲載ページ
00911	TP抗体 定性 (梅毒トレポネーマ抗体)	79
00916	TP抗体 半定量-血清 (梅毒トレポネーマ抗体)	79
07212	TP抗体 半定量-髄液 (梅毒トレポネーマ抗体)	79
02885	クラミジア(クラミドフィラ)・ニューモニエIgA抗体	81
00811	百日咳菌抗体/EIA	82
07589	EBウイルス(EBV) EA-IgG/EIA	94

変更日 2018年10月1日(月)受付分より



● 検査の受託中止 (15 ページ)

依頼コードNo.	検査項目名	総合検査案内2018 掲載ページ
02790	HPV-DNA型判定/PCR-rSSO	109
01938	HPV-DNA型判定/PCR-Invader	214
02654	高感度IL-6	222

最終受託日 2018年9月29日(土)受付分まで

● 緊急報告対象からの削除 (15 ページ)

依頼コードNo.	検査項目名	総合検査案内2018 掲載ページ
03567	アミカシン	33及び手引き-4
03566	トブラマイシン	33及び手引き-4
03565	ゲンタマイシン	33及び手引き-4

緊急報告対象の中止日 2018年9月29日(土)受付分まで

● 容器の変更 (16 ページ)

容器記号	容器名	総合検査案内2018 掲載ページ
CT/NG PCR-S	淋菌及びクラミジア・トラコマチス(PCR法)専用 S : 泌尿器・子宮頸部分泌物	80,81,245
CT/NG PCR-U	淋菌及びクラミジア・トラコマチス(PCR法)専用 U : 尿・うがい液	80,81,245

変更日 2018年10月より順次変更

検査内容の変更

《変更日：2018年10月1日(月)受付分より変更》

● アミカシン(アミカシン硫酸塩)

治療有効濃度や採血時間につきまして、日本化学療法学会・日本TDM学会の「抗菌薬TDMガイドライン改訂版2016」記載値に準拠して、変更させていただきます。

基準値は、グラム陰性菌感染症の重症に対するTDM目標値を設定しました。

なお、当該抗菌薬の投与設計において、安全性の面からは主にトラフ値が評価される点を考慮し、ピーク値に基づいて設定した「緊急報告を行う検査項目」の対象から削除させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	03567	同左
検査項目名	アミカシン	同左
統一コード	3M601-0000-023-062	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
容器	B-3 → S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2～4	同左
検査方法	ラテックス凝集比濁法(KIMS法)	同左
基準値	治療有効濃度 ピーク値：50.0～60.0 トラフ値：4.0未満	治療有効濃度 ピーク値：20.0～25.0 トラフ値：5.0～10.0 中毒濃度 ピーク値：30.0以上 トラフ値：10.0以上
単位	μg/mL	同左
報告範囲	0.8未満～最終値	同左
報告桁数	小数第1位	同左
保険点数	470点(特定薬剤治療管理料1)	同左
備考	緊急報告の対象から削除	緊急報告対象
	採血時間： 投与前30分以内(トラフ値) 点滴開始1時間後(30分で投与した場合、終了30分後)(ピーク値)	採血時間： 投与直前(トラフ値) 筋注後0.5～1時間(ピーク値) 点滴開始後1時間(ピーク値)

【参考文献】

日本化学療法学会/日本TDM学会: 抗菌薬TDMガイドライン改訂版, 2016. (杏林舎)

● トブラマイシン

治療有効濃度や採血時間につきまして、日本化学療法学会・日本TDM学会の「抗菌薬TDMガイドライン改訂版2016」記載値に準拠して、変更させていただきます。

基準値は、グラム陰性菌感染症の重症に対するTDM目標値を設定しました。

なお、当該抗菌薬の投与設計において、安全性の面からは主にトラフ値が評価される点を考慮し、ピーク値に基づいて設定した「緊急報告を行う検査項目」の対象から削除させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	03566	同左
検査項目名	トブラマイシン	同左
統一コード	3M602-0000-023-024	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
容器	B-3→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2～4	同左
検査方法	EIA法	同左
基準値	治療有効濃度 ピーク値：15.0～20.0 トラフ値：1.0未満	治療有効濃度 ピーク値：4.0～10.0 トラフ値：2.0以下 中毒濃度 ピーク値：10.0以上 トラフ値：2.0以上
単位	μg/mL	同左
報告範囲	0.4未満～最終値	同左
報告桁数	小数第1位	同左
保険点数	470点(特定薬剤治療管理料1)	同左
備考	緊急報告の対象から削除	緊急報告対象
	採血時間： 投与前30分以内(トラフ値) 点滴開始1時間後(30分で投与した場合、終了30分後)(ピーク値)	採血時間： 投与直前(トラフ値) 筋注後0.5～1時間(ピーク値) 点滴開始後1時間(ピーク値)

【参考文献】

日本化学療法学会/日本TDM学会：抗菌薬TDMガイドライン改訂版，2016。（杏林舎）

● ゲンタマイシン(ゲンタマイシン硫酸塩)

治療有効濃度や採血時間につきまして、日本化学療法学会・日本TDM学会の「抗菌薬TDMガイドライン改訂版2016」記載値に準拠して、変更させていただきます。

基準値は、グラム陰性菌感染症の重症に対するTDM目標値を設定しました。

なお、当該抗菌薬の投与設計において、安全性の面からは主にトラフ値が評価される点を考慮し、ピーク値に基づいて設定した「緊急報告を行う検査項目」の対象から削除させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	03565	同左
検査項目名	ゲンタマイシン	同左
統一コード	3M606-0000-023-024	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
容器	B-3 → S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2～4	同左
検査方法	EIA法	同左
基準値	治療有効濃度 ピーク値：15.0～20.0 トラフ値：1.0未満	治療有効濃度 ピーク値：4.0～10.0 トラフ値：2.0以下 中毒濃度 ピーク値：10.0以上 トラフ値：2.0以上
単位	μg/mL	同左
報告範囲	0.3未満～最終値	同左
報告桁数	小数第1位	同左
保険点数	470点(特定薬剤治療管理料1)	同左
備考	緊急報告の対象から削除	緊急報告対象
	採血時間： 投与前30分以内(トラフ値) 点滴開始1時間後(30分で投与した場合、終了30分後)(ピーク値)	採血時間： 投与直前(トラフ値) 筋注後0.5～1時間(ピーク値) 点滴開始後1時間(ピーク値)

【参考文献】

日本化学療法学会/日本TDM学会: 抗菌薬TDMガイドライン改訂版, 2016. (杏林舎)

● バンコマイシン(バンコマイシン塩酸塩)

治療有効濃度や採血時間につきまして、日本化学療法学会・日本TDM学会の「抗菌薬TDMガイドライン改訂版2016」記載値に準拠して、変更させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	07707	同左
検査項目名	バンコマイシン	同左
統一コード	3M530-0000-023-024	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
容器	B-3→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	1～2	同左
検査方法	EIA法	同左
基準値	治療有効濃度 トラフ値：10.0～15.0	治療有効濃度 ピーク値：25.0～40.0 トラフ値：5.0～10.0
単位	μg/mL	同左
報告範囲	2.0未満～最終値	同左
報告桁数	小数第1位	同左
保険点数	470点(特定薬剤治療管理料1)	同左
備考	採血時間： 投与前30分以内(トラフ値)	採血時間： 投与直前(トラフ値) 点滴開始後1～2時間(ピーク値)

【参考文献】

日本化学療法学会/日本TDM学会: 抗菌薬TDMガイドライン改訂版, 2016. (杏林舎)

● ポリコナゾール

治療有効濃度につきまして、日本化学療法学会・日本TDM学会の「抗菌薬TDMガイドライン改訂版2016」記載値に準拠して、変更させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	06748	同左
検査項目名	ポリコナゾール	同左
統一コード	3M698-0000-022-210	同左
検査材料	血漿	同左
検体必要量	0.2mL	同左
容器	B-6 → S-1	同左
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	4～6	同左
検査方法	LC-MS/MS法	同左
基準値	治療有効濃度 トラフ値：≥ 1.00～2.00 (トラフ値：≥ 4.00～5.00の 場合に肝障害に注意する)	なし
単位	μg/mL	同左
報告範囲	0.20未満～最終値	同左
報告桁数	小数第2位	同左
保険点数	470点(特定薬剤治療管理料1)	同左

【参考文献】

日本化学療法学会/日本TDM学会：抗菌薬TDMガイドライン改訂版，2016。（杏林舎）

● アルベカシン(アルベカシン硫酸塩)

血中濃度測定に際して、推奨される採血時間につきまして、日本化学療法学会・日本TDM学会の「抗菌薬TDMガイドライン改訂版2016」記載に準拠して、変更させていただきます。
この変更に伴う、受託要領の変更はございません。

	新	従来
依頼コードNo.	12976	同左
検査項目名	アルベカシン	同左
統一コード	3M613-0000-023-062	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5 mL	同左
容器	B-3→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2～3	同左
検査方法	ラテックス凝集比濁法	同左
基準値	治療有効濃度 ピーク値：15.0～20.0 トラフ値：1.0～2.0未満	同左
単位	μg/mL	同左
報告範囲	0.5未満～300.0	同左
報告桁数	小数第1位	同左
保険点数	470点(特定薬剤治療管理料1)	同左
備考	採血時間： 投与前30分以内(トラフ値) 点滴開始1時間後(30分で投与した場合、終了30分後)(ピーク値)	採血時間： 投与直前(トラフ値) 筋注後0.5～1時間(ピーク値) 点滴開始後1時間(ピーク値)

【参考文献】

日本化学療法学会/日本TDM学会：抗菌薬TDMガイドライン改訂版，2016。（杏林舎）

● テイコプラニン

血中濃度測定に際して、推奨される採血時間につきまして、日本化学療法学会・日本TDM学会の「抗菌薬TDMガイドライン改訂版2016」記載に準拠して、変更させていただきます。
この変更に伴う、受託要領の変更はございません。

	新	従来
依頼コードNo.	13006	同左
検査項目名	テイコプラニン	同左
統一コード	3M532-0000-023-062	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
容器	B-3 → S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2～3	同左
検査方法	ラテックス凝集比濁法	同左
基準値	治療有効濃度 トラフ値：15.0～30.0	同左
単位	μg/mL	同左
報告範囲	4.0未満～最終値	同左
報告桁数	小数第1位	同左
保険点数	470点(特定薬剤治療管理料1)	同左
備考	採血時間： 投与前30分以内(トラフ値)	採血時間： 投与直前(トラフ値)

【参考文献】

日本化学療法学会/日本TDM学会：抗菌薬TDMガイドライン改訂版，2016。（杏林舎）

● 特異的IgE ヒノキ

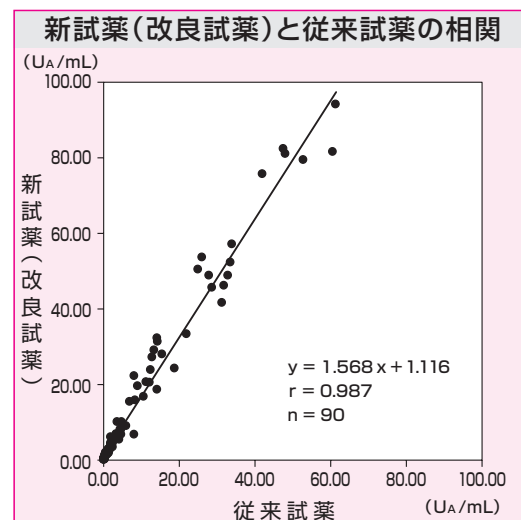
測定試薬を、特異性が向上した改良試薬に変更させていただきます。
この変更に伴う検査方法、報告単位等の変更はございません。

	新	従来
依頼コードNo.	04716	同左
検査項目名	特異的IgE ヒノキ	同左
統一コード	5A100-2228-023-023	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.3mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2～3	同左
検査方法	FEIA法	同左
基準値	0.34以下	同左
単位	U _A /mL	同左
報告範囲	0.10未満～100以上 (クラス：0～6)	同左
報告桁数	小数第2位	同左
検査実施料/判断料	110点/144点(免疫学的検査)	同左

一致率表

		従来(クラス)							合計
		0	1	2	3	4	5	6	
新(クラス)	6						2		2
	5					7	3		10
	4				11	7			18
	3			11	15				26
	2		7	15					22
	1	2	4						6
	0	26	2						28
	合計	28	13	26	26	14	5	0	112

陽性一致率 100.0%
陰性一致率 92.9%
判定一致率 90.2%



自社検討資料

【参考文献】

米倉修二, 他: アレルギー 67, 67-71, 2018.

● View アレルギー39 (ヒノキ)

本検査の構成アレルゲン「ヒノキ」につきまして、測定試薬を、特異性が向上した改良試薬に変更させていただきます。

この変更に伴う検査方法、報告単位等の変更はございません。

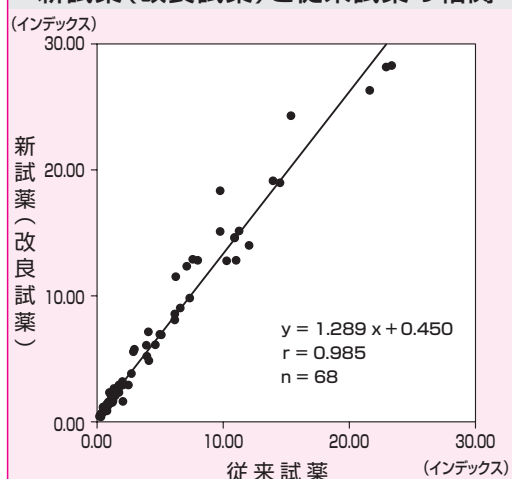
	新	従来
依頼コードNo.	11100	同左
検査項目名	View アレルギー 39	同左
統一コード	5A100-2808-023-023	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.9mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2～3	同左
検査方法	FEIA法	同左
基準値	インデックス値：0.27 未満	同左
単 位	なし	同左
報告範囲	インデックス値：0.27未満～29.31以上 (クラス：0～6)	同左
報告桁数	小数第2位	同左
検査実施料/判断料	1430点/144点(免疫学的検査)	同左

一致率表

		従来(クラス)							合計
		0	1	2	3	4	5	6	
新(クラス)	6						2	1	3
	5					4	3		7
	4				5	11			16
	3			8	14				22
	2		3	16	1				20
	1	4	3						7
	0	21	3	1					25
	合計	25	9	25	20	15	5	1	100

陽性一致率 98.5%
陰性一致率 84.0%
判定一致率 89.0%

新試薬(改良試薬)と従来試薬の相関



自社検討資料

● HPV-DNA型判定/PCR-rSSO

子コードの設定を増やし、報告できる検出型を最大5種に変更させていただきます。
この変更に伴い、依頼(報告)コードNo.を変更させていただきます。

	新	従来
依頼(報告)コードNo.	11561(親) (子) 21914 判定 (子) 21915 検出型 (子) 21916 検出型 (子) 21917 検出型 (子) 21918 検出型 (子) 21919 検出型	02790(親) (子) 02844 判定 (子) 02847 検出型 (子) 02849 検出型 (子) 02852 検出型
検査項目名	HPV-DNA型判定/PCR-rSSO	同左
統一コード	5F100-1405-085-898	同左
検査材料	患部擦過物	同左
容器	LBC	同左
検体の保存方法	室温	同左
所要日数	3~6	同左
検査方法	PCR-rSSO法	同左
基準値	なし	同左
単位	なし	同左
報告範囲(報告形式)	「陽性」および16, 18, 31, 33, 35, 39, 45, 51, 52, 56, 58, 59, 68型の検出された遺伝子型または「検出されず」	同左
検査実施料/判断料	2000点/150点(微生物学的検査)	同左

● HPV-DNA型判定/PCR-Invader

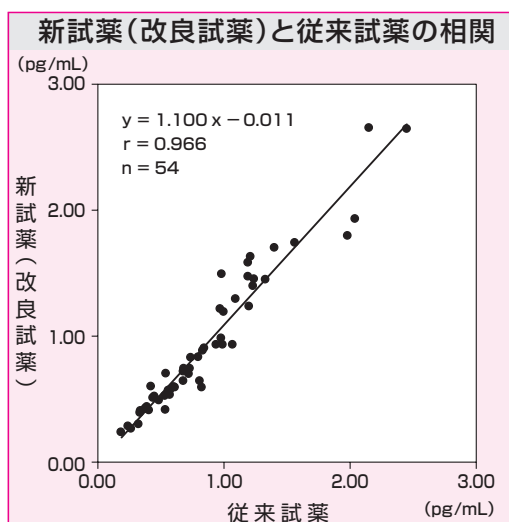
子コードの設定を増やし、報告できる検出型を最大5種に変更させていただきます。
この変更に伴い、依頼(報告)コードNo.を変更させていただきます。

	新	従来
依頼(報告)コードNo.	13147(親) (子) 22315 判定 (子) 22316 検出型 (子) 22317 検出型 (子) 22318 検出型 (子) 22319 検出型 (子) 22320 検出型	01938(親) (子) 04531 判定 (子) 04532 検出型 (子) 04533 検出型 (子) 04534 検出型
検査項目名	HPV-DNA型判定/PCR-Invader	同左
統一コード	5F100-1405-085-951	同左
検査材料	患部擦過物	同左
容器	HPV-1 (一般用) HPV-2 (妊婦用) LBC	同左
検体の保存方法	HPV-1, 2 : 冷蔵 LBC : 室温	同左
所要日数	3~9	同左
検査方法	PCR-Invader法	同左
基準値	なし	同左
単位	なし	同左
報告範囲(報告形式)	「陽性」および16, 18, 31, 33, 35, 39, 45, 51, 52, 56, 58, 59, 67, 68型の検出された遺伝子型。さらに混合感染例ではDominant(D表示)、または「検出されず」	同左
検査実施料/判断料	未収載	同左

● 高感度IL-6

従来試薬販売中止のため、同一試薬製造元の改良試薬に変更させていただきます。
この変更に伴い、依頼コードNo.と参考基準値を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	13153	02654
検査項目名	高感度IL-6	同左
統一コード	5J130-0000-023-023	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
容器	B-3 → S-1	同左
検体の保存方法	凍結(単独検体)	同左
所要日数	不定期	同左
検査方法	EIA法	同左
参考基準値	2.60未満	0.45～9.96
単位	pg/mL	同左
報告範囲	0.16未満～最終値	同左
報告桁数	小数第2位	同左
検査実施料/判断料	未収載	同左



自社検討資料

検査項目名の変更

《変更日：2018年10月1日(月)受付分より変更》

弊社の検査結果報告書や請求書に表示しております検査項目名および項目略称につきまして、この度、見直しを行いました結果、一部変更させていただくことになりました。

- 今回変更となる検査項目名および項目略称は、「全角12文字」「全角8文字」「半角14文字」「半角8文字」の4種類となります。
- この変更に伴い、報告書や請求書などへの表示名称が変更になる場合があります。
(ただし、検査項目名を固定印刷している報告書については、現行通りの表記となる場合があります。)
お客様でご使用になる区分については、ご使用のシステム担当者、または弊社営業までお問い合わせください。

依頼コード No.	検査項目名	変更内容	新	従来
00911	TP抗体 定性 (梅毒トレポネーマ抗体)	全角12文字	梅毒TP抗体定性	TPHA定性
		全角8文字	TP抗体定性	TPHA定性
		半角14文字	TPツカイトエイ	TPHA テエイ
		半角8文字	TPツカ/QL	TPHA/QL
00916	TP抗体 半定量-血清 (梅毒トレポネーマ抗体)	全角12文字	梅毒TP抗体半定量-血清	同左
		全角8文字	TP抗体半定量S	同左
		半角14文字	TPツカイ ハンテリヨ	TPHAハンテリヨ
		半角8文字	TPツカ/QT	TPHA/QT
07212	TP抗体 半定量-髄液 (梅毒トレポネーマ抗体)	全角12文字	梅毒TP抗体半定量-髄液	同左
		全角8文字	TP抗体半定量L	同左
		半角14文字	TPツカイ-リコ-ル	TPHA-リコ-ル
		半角8文字	TPツカリコ-ル	TPHAリコ-ル
02885	クラミジア(クラミドフィラ) ・ニューモニエIgA抗体	全角12文字	CニューモニエIgA抗体	C. ニューモニエー IgA
		全角8文字	CP. IgA抗体	同左
		半角14文字	Cニ-モニIGA	同左
		半角8文字	CP.IGAAB	同左
00811	百日咳菌抗体/EIA	全角12文字	百日咳菌抗体/EIA	同左
		全角8文字	百日咳抗体EIA	同左
		半角14文字	ヒヤクニセキツカタイ	ヒヤクニセキツカタイ
		半角8文字	ヒヤクニチAB	ヒヤクニチAB
07589	EBウイルス(EBV) EA-IgG/EIA	全角12文字	EA-IgG/EIA	同左
		全角8文字	EA-IgG	EB-IgG
		半角14文字	EB-EA-IGG/EIA	同左
		半角8文字	EA-IGG	EB-IGG

検査の受託中止

《最終受託日：2018年9月29日(土)受付分まで》

下記項目につきまして、項目移行のため検査受託を中止させていただきます。
ご愛用いただきました先生方にはご迷惑をお掛けいたしますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

●代替項目あり

受託中止項目			代替項目	
依頼コードNo.	検査項目名	中止理由	依頼コードNo.	検査項目名
02790	HPV-DNA型判定/PCR-rSSO	より多くの検出型を報告できる項目への変更のため	11561	HPV-DNA型判定/PCR-rSSO
01938	HPV-DNA型判定/PCR-Invader	より多くの検出型を報告できる項目への変更のため	13147	HPV-DNA型判定/PCR-Invader
02654	高感度IL-6	現行試薬販売中止のため	13153	高感度IL-6

緊急報告対象からの削除

《緊急報告対象の中止日：2018年9月29日(土)受付分まで》

下記項目につきまして、当該抗菌薬の投与設計において、安全性の面からは主にトラフ値が評価される点を考慮し、ピーク値に基いて設定した「緊急報告を行う検査項目」の対象から削除させていただきます。

緊急報告対象中止項目		
依頼コードNo.	検査項目名	中止内容
03567	アミカシン	緊急報告を行う検査項目からの削除
03566	トブラマイシン	緊急報告を行う検査項目からの削除
03565	ゲンタマイシン	緊急報告を行う検査項目からの削除


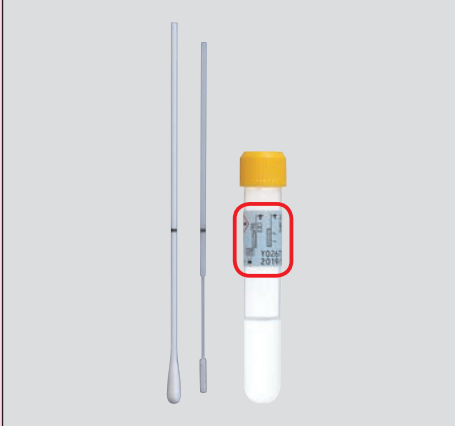
容器の変更

《変更日：2018年10月より順次変更》

● 淋菌及びクラミジア・トラコマチス(PCR法)専用容器

先生方のご要望にお応えし、ラベルサイズを大きいサイズへ変更させていただきます。

S：泌尿器・子宮頸部分泌物

	新	従来
容器記号	CT/NG PCR-S	同左
製造会社	ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社	同左
容器画像		

U：尿・うがい液

	新	従来
容器記号	CT/NG PCR-U	同左
製造会社	ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社	同左
容器画像	